2026年9月期

業績説明資料

（2025年10月～2026年9月）

株式会社アドバンスクリエイト

2026年11月13日

証券コード：8798

目　　次

01. 2026年9月期 決算概要

02. 事業戦略

03. アドバンスクリエイトとは

04. サステナビリティ経営

05. appendix

01. 2026年9月期 決算概要

2026年9月期 決算概要

― 連結業績―

メディア事業において受注が減少したこと、保険代理店事業において、アポイント獲得数が伸び悩み新規面談数に影響が出たこと等が、主な減収要因となりました。他方で、販売費および一般管理費の減少等により、親会社株主に帰属する当期純損失は改善いたしました。

売上高	6,667百万円となり、前期比254百万円の減収
営業損益	▲102百万円となり、前期比184百万円の改善
経常損益	▲195百万円となり、前期比373百万円の改善
当期純損益	▲960百万円となり、前期比222百万円の改善

2026年9月期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）	2025年9月期	構成比（%）	2026年9月期	構成比（%）	増減率 （%）
売上高	6,921	100.0	6,667	100.0	▲ 3.7
保険代理店事業（生保）	4,516	65.2	4,035	60.5	▲ 10.6
保険代理店事業（損保）	585	8.5	757	11.4	29.3
ＡＳＰ事業	306	4.4	295	4.4	▲ 3.7
メディア事業	966	14.0	212	3.2	▲ 78.0
メディアレップ事業	526	7.6	1,100	16.5	109.1
再保険事業	1,025	14.8	1,054	15.8	2.9
連結修正	▲ 1,004	▲ 14.5	▲ 789	▲ 11.8	ー
売上原価（変動費）	1,388	20.1	1,548	23.2	11.5
売上総利益	5,532	79.9	5,118	76.8	▲ 7.5
営業費用（固定費）	5,819	84.1	5,221	78.3	▲ 10.3
営業損益	▲ 286	▲4.1	▲ 102	▲ 1.5	ー
保険代理店事業	▲ 687	▲ 9.9	▲ 113	▲ 1.7	ー
ＡＳＰ事業	123	1.8	106	1.6	▲ 13.7
メディア事業	190	2.8	17	0.3	▲ 91.0
メディアレップ事業	▲ 38	▲ 0.6	▲ 93	▲ 1.4	ー
再保険事業	83	1.2	▲ 40	▲ 0.6	ー
連結修正	41	0.6	21	0.3	▲ 48.2
経常損益	▲ 568	▲8.2	▲ 195	▲ 2.9	ー
当期純損益	▲ 1,183	▲17.1	▲ 960	▲ 14.4	ー
一株当たり当期純損益（円）	▲ 45.98		▲ 13.89		

※過去数値については、過年度決算訂正を反映した数値を記載しております。

（保険代理店事業）
アポイント獲得数が伸び悩み新規面談数に影響（減少）が出たこと等により、減収となりました。他方で、販売費及び一般管理費が減少いたしました。

（ASP事業）
乗合保険代理店等へのACPの新規販売が伸び悩んだことにより、減収減益となりました。

（メディア事業）
保険選びサイト「保険市場（ほけんいちば）」への広告出稿が低調に推移したことにより、減収減益となりました。

（メディアレップ事業）
受注が堅調に推移した一方、外注費が増加したことにより、増収減益となりました。

2026年9月期 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	2025年9月期末	2026年9月期末	増減
流動資産	9,104	6,897	▲ 2,206
現預金	5,339	2,330	▲ 3,009
売掛金	2,667	3,105	438
未収入金	187	162	▲ 25
流動化資産	ー	658	658
その他	910	642	▲ 268
固定資産	1,010	887	▲ 123
有形固定資産	1	0	▲0
無形固定資産	79	61	▲ 17
投資その他の資産	930	824	▲ 105
繰延資産	97	61	▲ 36
資産合計	10,213	7,846	▲ 2,366

（単位：百万円）	2025年9月期末	2026年9月期末	増減
流動負債	7,890	6,850	▲ 1,040
短期借入金	4,638	4,738	100
1年内償還予定社債	100	100	ー
リース債務	120	109	▲ 10
流動化負債	1,152	ー	▲ 1,152
その他	1,879	1,901	22
固定負債	1,873	1,441	▲ 431
長期借入金	150	142	▲ 7
社債	250	150	▲ 100
リース債務(1年超)	456	294	▲ 162
その他	1,016	854	▲ 161
負債合計	9,763	8,291	▲ 1,471
資本金	100	100	ー
資本剰余金	1,995	1,995	ー
利益剰余金	▲ 1,267	▲ 2,228	▲ 960
自己株式	▲ 378	▲ 312	65
その他	0	0	▲0
純資産合計	449	▲445	▲ 895
負債及び純資産合計	10,213	7,846	▲ 2,366

【資産】
資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,366百万円減少し、7,846百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末比2,206百万円減少しましたが、これは主に、現金及び預金が3,009百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末比123百万円減少しましたが、これは主に、差入保証金が173百万円減少したこと等によるものです。

【負債及び純資産】
負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,471百万円減少し8,291百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末比1,040百万円減少しましたが、これは主に、債権流動化に係る調整勘定が1,152百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末比431百万円減少しましたが、これは主に、リース債務が162百万円、社債が100百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。
純資産合計は、前連結会計年度末に比べ895百万円減少し△445百万円となりました。これは主に、利益剰余金が960百万円減少したこと等によるものです。

※過去数値については、過年度決算訂正を反映した数値を記載しております。

2026年9月期 キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）	2025年9月期	2026年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,904	▲ 2,756	1,147
税金等調整前当期純損失	▲ 1,158	▲ 955	203
減価償却費	66	55	▲ 10
売上債権の増減額	▲ 663	▲ 438	225
その他（営業活動CF小計上）	▲ 2,781	▲ 1,144	1,636
小計	▲ 4,537	▲ 2,482	2,054
税金支払額等	▲ 104	▲ 149	▲ 44
税金還付額等	937	337	▲ 599
その他（営業活動CF小計下）	▲ 199	▲ 462	▲ 262
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 135	▲ 381	▲ 245
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,422	▲ 170	▲ 8,593
短期借入金に係る収支	1,920	99	▲ 1,820
長期借入金返済による支出	▲ 14	▲ 7	6
社債に係る収支	▲ 300	▲ 100	200
リース債務返済による支出	▲ 128	▲ 172	▲ 44
増資	6,901	―	▲ 6,901
その他	43	10	▲ 32
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 34	31	66
現金及び現金同等物の増減額	4,347	▲ 3,276	▲ 7,624
現金及び現金同等物の期首残高	941	5,288	
現金及び現金同等物の期末残高	5,288	2,012	▲ 3,276

【営業活動によるキャッシュフロー】
営業活動の結果使用した資金は、税金等調整前当期純損失955百万円、減損損失240百万円、売上債権の増減額△438百万円、債権流動化にかかる調整勘定の増減額△1,810百万円、法人税等の支払額31百万円及び還付額299百万円等により、2,756百万円の支出となりました。

【投資活動によるキャッシュフロー】
投資活動の結果使用した資金は、無形固定資産の取得による支出194百万円及び差入保証金の回収による収入187百万円等により、381百万円の支出となりました。

【財務活動によるキャッシュフロー】
財務活動の結果獲得した資金は、社債の償還による支出100百万円及びリース債務の返済による支出172百万円等により、170百万円の支出となりました。

2026年9月期の債務超過要因

（単位：百万円）	2025年9月期末	2026年9月期末	増減
流動負債	7,890	6,850	▲ 1,040
短期借入金	4,638	4,738	100
1年内償還予定社債	100	100	―
リース債務	120	109	▲ 10
流動化負債	1,152	―	▲ 1,152
その他	1,879	1,901	22
固定負債	1,873	1,441	▲ 431
長期借入金	150	142	▲ 7
社債	250	150	▲ 100
リース債務（1年超）	456	294	▲ 162
その他	1,016	854	▲ 161
負債合計	9,763	8,291	▲ 1,471
資本金	100	100	―
資本剰余金	1,995	1,995	―
利益剰余金	▲ 1,267	▲ 2,228	▲ 960
自己株式	▲ 378	▲ 312	65
その他	0	0	▲0
純資産合計	449	▲445	▲ 895
負債及び純資産合計	10,213	7,846	▲ 2,366

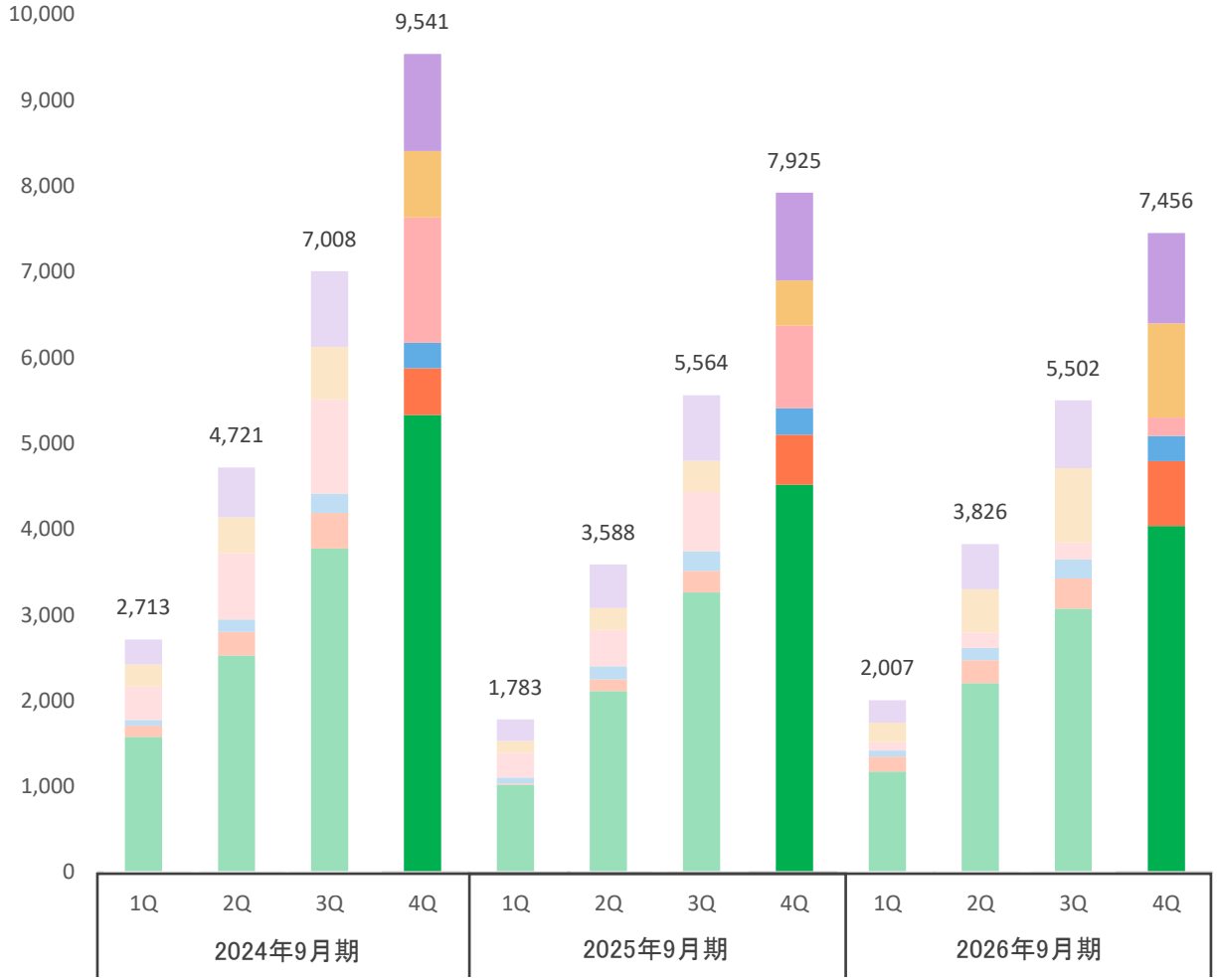
（単位：百万円）	2026年9月期末
純資産合計	▲ 445
特別調査費用及び過年度訂正に伴う費用	▲ 578
その他特別損益（特別利益－特別損失）	▲ 181
純資産合計 （上記特殊要因の影響を除外した場合）	314

2026年8月14日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、当社及び広告代理店事業を行う当社の完全子会社である株式会社保険市場における過年度の一部の広告取引、ソフトウェアの資産計上等において、不適切な会計処理が行われていた疑義が発覚したことを受け、第三者委員会による調査を進めておりましたところ、2026年7月31日付で第三者委員会より調査報告書を受領いたしました。また、第三者委員会の調査結果を受けて過年度決算の訂正を行いました。

2026年9月期の連結決算において、当該調査に係る特別調査費用及び過年度訂正に伴う費用578百万円を特別損失として計上したことが、当期純損益を大きく押し下げ、債務超過の要因となりました。特殊要因の影響を除外した場合の純資産合計は314百万円となっております。

セグメント別売上高（累計期間）

（単位：百万円）



	2025年9月期	2026年9月期	前期比
再保険	1,025	1,054	2.9%
メディアレップ	526	1,100	109.1%
メディア	966	212	▲ 78.0%
ASP	306	295	▲ 3.7%
保険代理店（損保）	585	757	29%
保険代理店（生保）	4,516	4,035	▲ 10.6%
合計	7,925	7,456	▲ 5.9%

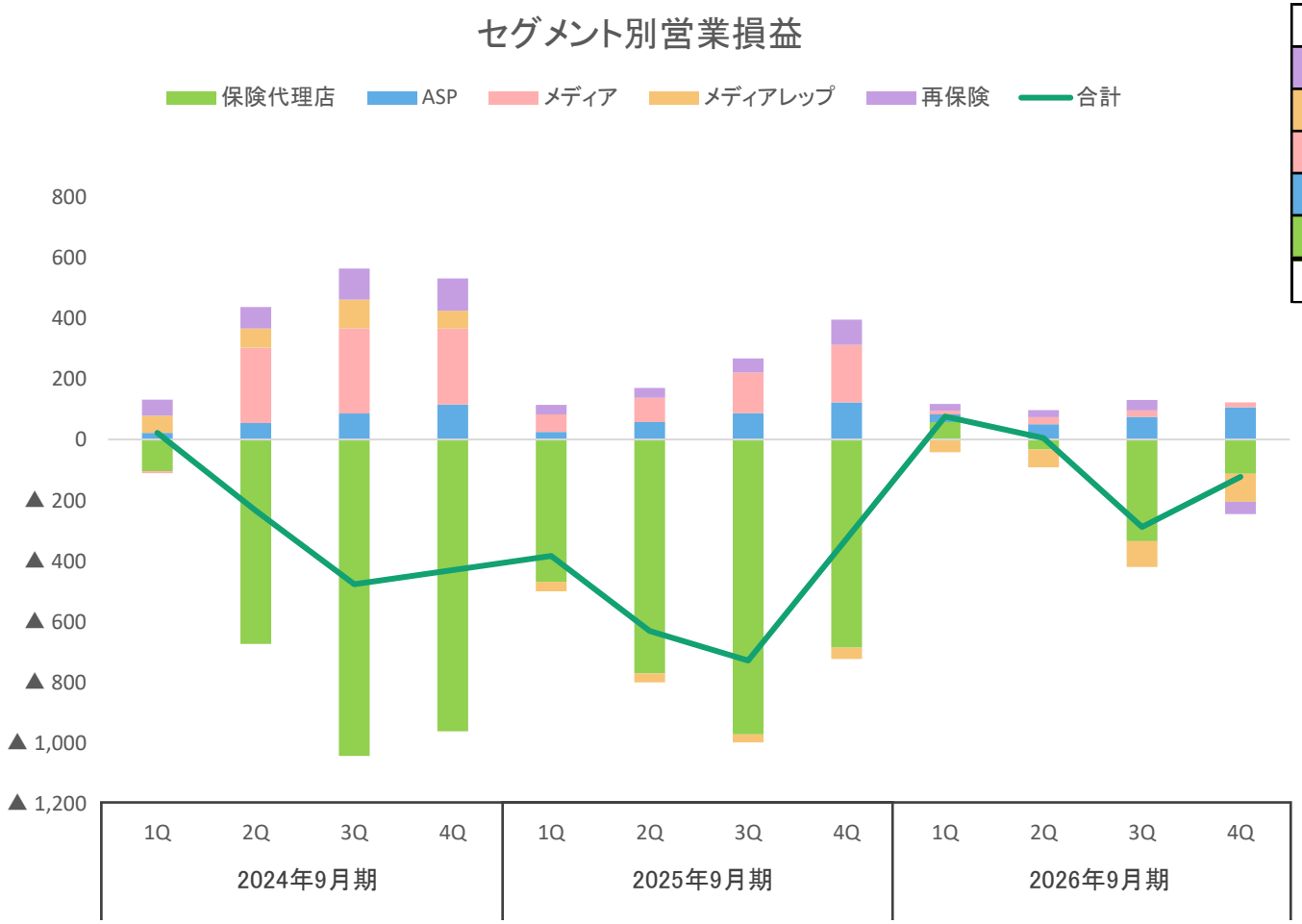
※過去数値については、過年度決算訂正を反映した数値を記載しております。

（連結修正前）

2026年9月期 決算概要

セグメント別営業損益（累計期間）

（単位：百万円）



	2025年9月期	2026年9月期	前期比
再保険	83	▲40	▲ 148.3%
メディアレップ	▲38	▲93	-
メディア	190	17	▲ 91.0%
ASP	123	106	▲ 13.7%
保険代理店	▲687	▲113	-
合計	▲328	▲123	-

（連結修正前）

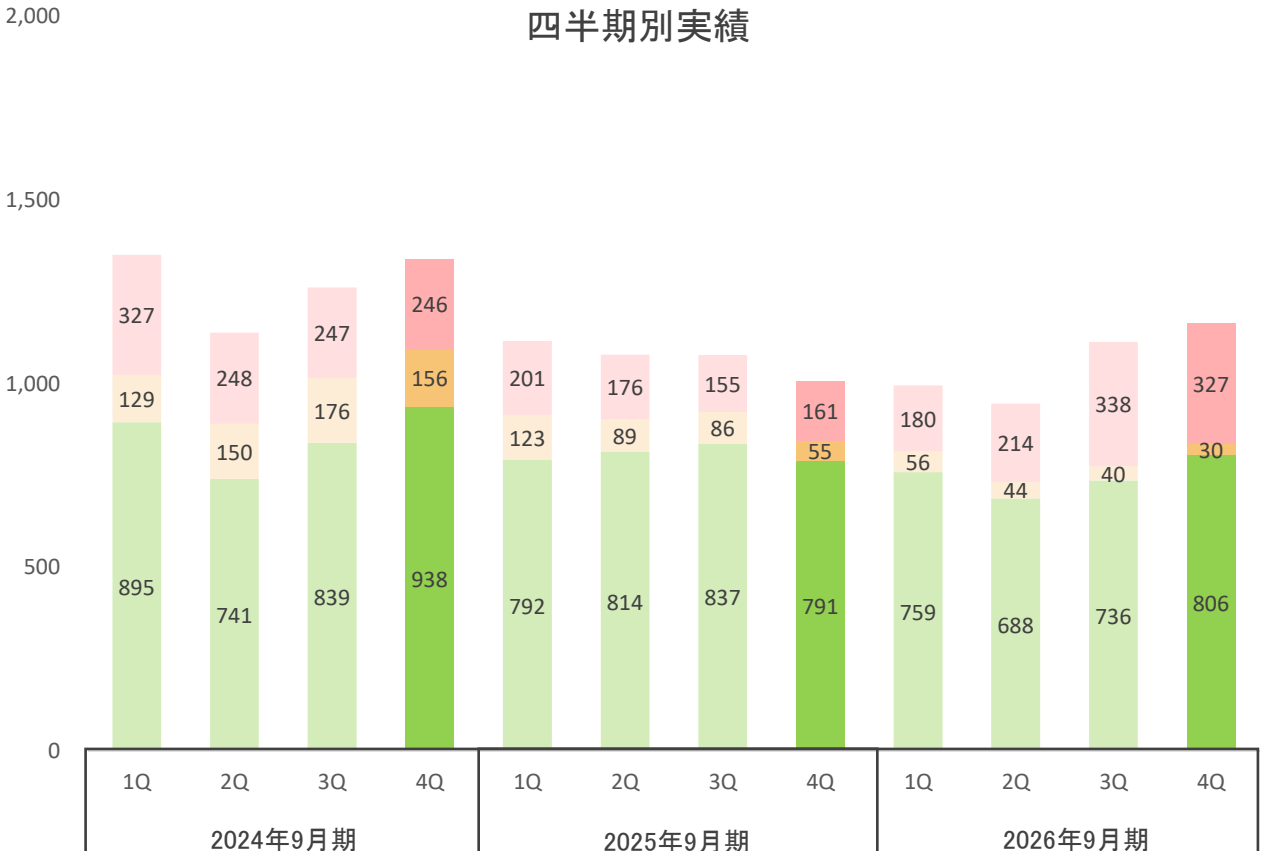
※過去数値については、過年度決算訂正を反映した数値を記載しております。

2026年9月期 決算概要

チャネル別申込ANP

（単位：百万円）

四半期別実績



累計実績（第1四半期～第4四半期）

	2025年9月期	2026年9月期	前期比
協　　業	695	1,061	52.7%
非対面販売	354	172	▲ 51.4%
対面販売	3,236	2,991	▲ 7.6%
合　　計	4,286	4,224	▲ 1.4%

※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPは60,000円となります。
※2024年9月期第3四半期より、非対面販売ANPは生保のみを対象としており、過去数値についても塗り替えております。
※2026年第2四半期以降については速報値を記載しております。

2027年9月期 通期予想（未定）

（単位：百万円）

連結	2023年9月期 通期実績	2024年9月期 通期実績	2025年9月期 通期実績	2026年9月期 通期実績	2027年9月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	10,000	8,142	6,921	6,667	-	-
営業損益	▲1,408	▲390	▲286	▲102	-	-
経常損益	▲1,560	▲453	▲568	▲195	-	-
当期純損益	▲2,486	▲1,813	▲1,183	▲960	-	-
ROE	-	-	-	-	-	-
売上高経常利益率	▲15.6%	▲5.6 %	▲8.2 %	▲2.9 %	-	-
配当性向	-	-	-	-	-	-
自己資本比率	▲40.5 %	▲80.5 %	4.4 %	▲5.7 %	-	-
PBR(決算期末時点)	-	-	-	-	-	-

※2027年9月期 通期予想は未定としております。また、過去数値については、過年度決算訂正を反映した数値を記載しております。

株主還元

■ 2026年9月期の期末配当につきましては、無配とさせていただきます。

■ 2025年9月期の株主優待は一時休止しておりましたが、2026年9月期の株主優待につきましても、引き続き休止とさせていただきます。

株主の皆さまには、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

02. 事業戦略

事業戦略

○SNS動画マーケティングの展開

SNS上で動画マーケティングを展開し、幅広いターゲットへリーチ。

○マーケティング効率の向上

マーケティング手法の改善に努め、顧客獲得単価(CPA)を抑える。

○生成AIを活用した独自戦略

お客さま対応に生成AIを活用し、お客さまの利便性を追求。
営業社員教育にも生成AIを活用し、社歴に関わらず営業社員が活躍できる環境を整備。

○若手社員の即戦力化

社員教育を充実させ、若手社員が即戦力として活躍できる環境を整備。
若手社員が中心となって営業支店を牽引。

○変額保険販売の拡大

取扱い開始以降、着実に販売量が拡大。
今後さらなる伸展が見込まれる。

SNS動画マーケティングの展開

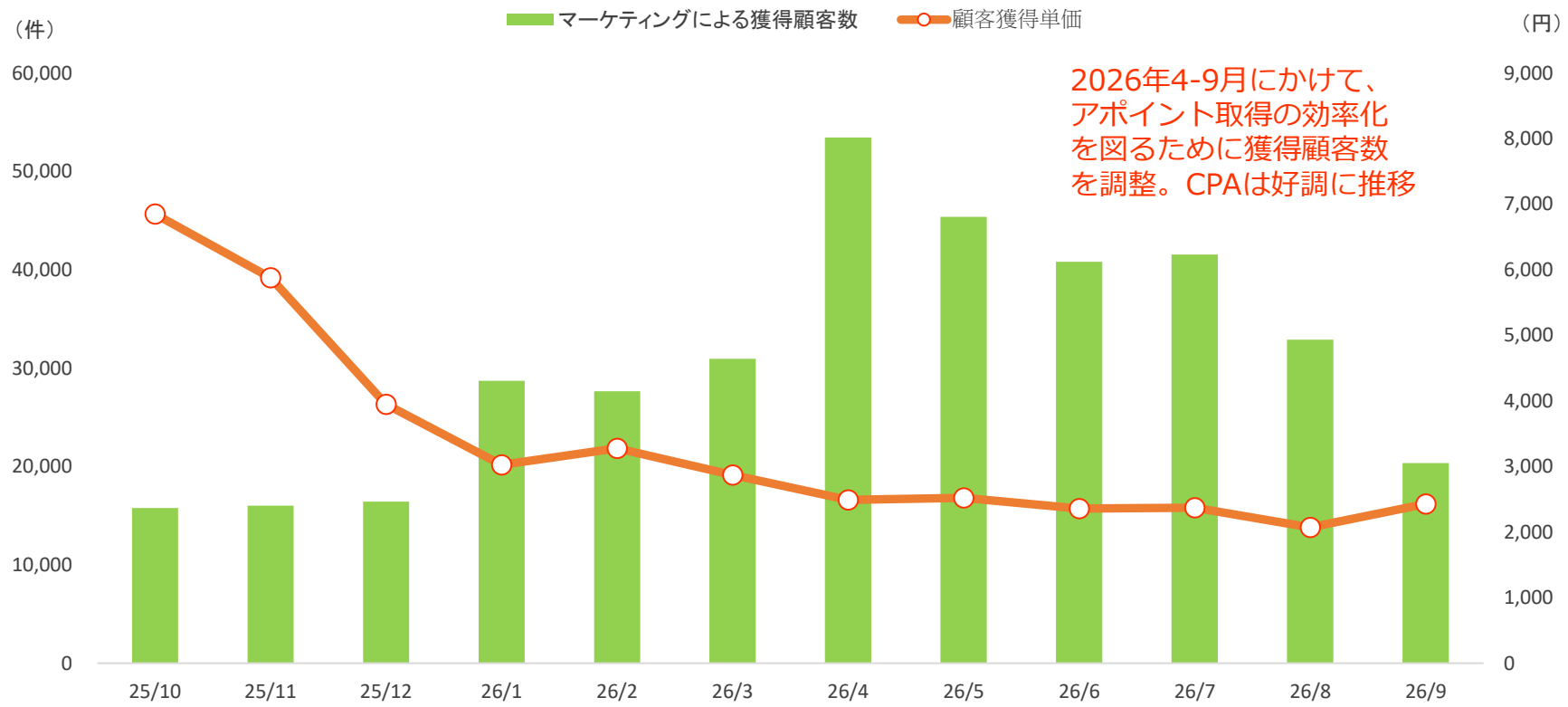
〇消費者が最も集まると言われるSNSにおいて、滞在時間が長い動画コンテンツ（ショート動画等）を展開。サイト訪問を目的とした動画だけでなく、保険市場のファンを増やす動画も駆使し、幅広いターゲットにリーチするマーケティングを展開する。





マーケティング効率の向上

〇マーケティング手法の改善に努め、1件当たりの顧客獲得にかかるコストである顧客獲得単価(CPA)は年間を通して減少傾向にある。



生成AIを活用した独自戦略(1)

〇お客さまからのお問い合わせ対応に生成AIを活用することで、夜間早朝対応の自動化（当社Webサイトに記載されている内容の範囲内での応答）を行う。営業時間外であっても制約を受けずにお問い合わせいただける等、お客さまの利便性の向上に努める。

〇当社直営の「保険市場 コンサルティングプラザ」での保険相談において、面談冒頭のヒアリングをAIアバターにて行う。生成AIの活用により、ヒアリング品質の平準化とコンサルティング品質の向上に努める。



生成AIを活用した独自戦略(2)

○生成AIを活用した営業サポート(アバターAIロープレ支援サービス「アバトレ」を用いた社員教育)を実施。いつでも何度でも、様々なタイプのお客さまとの接客ロールプレイングを行うことができ、短期間で多くの接客経験を積むことが可能となる等、社歴に関わらず営業社員が活躍できる環境を整備。

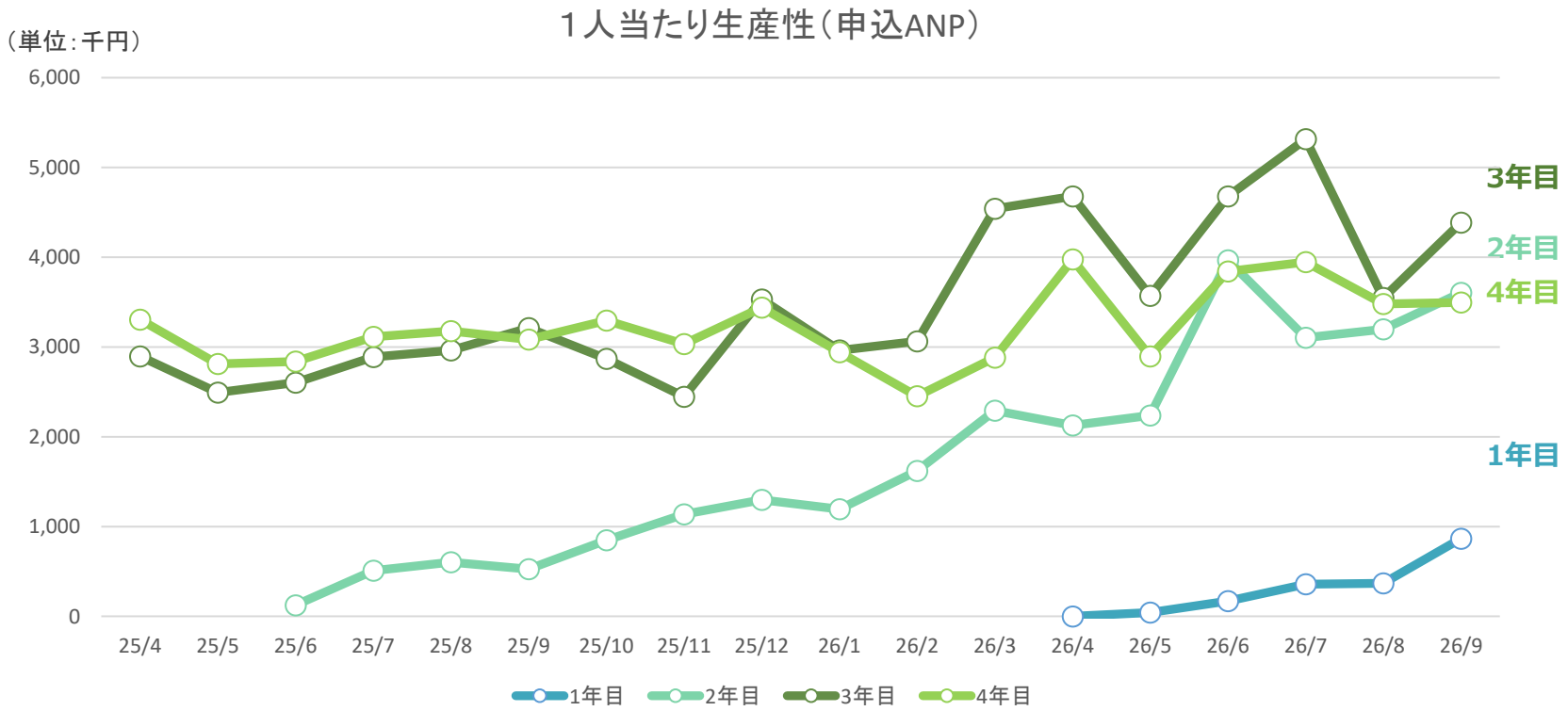
○AVITA株式会社の販売代理店として、「アバトレ」の保険業界への提供を推進。保険会社だけでなく、保険代理店への提供も進め、保険業界全体における接客品質の向上に貢献していく。



トレーニング画面のイメージ

若手社員の即戦力化

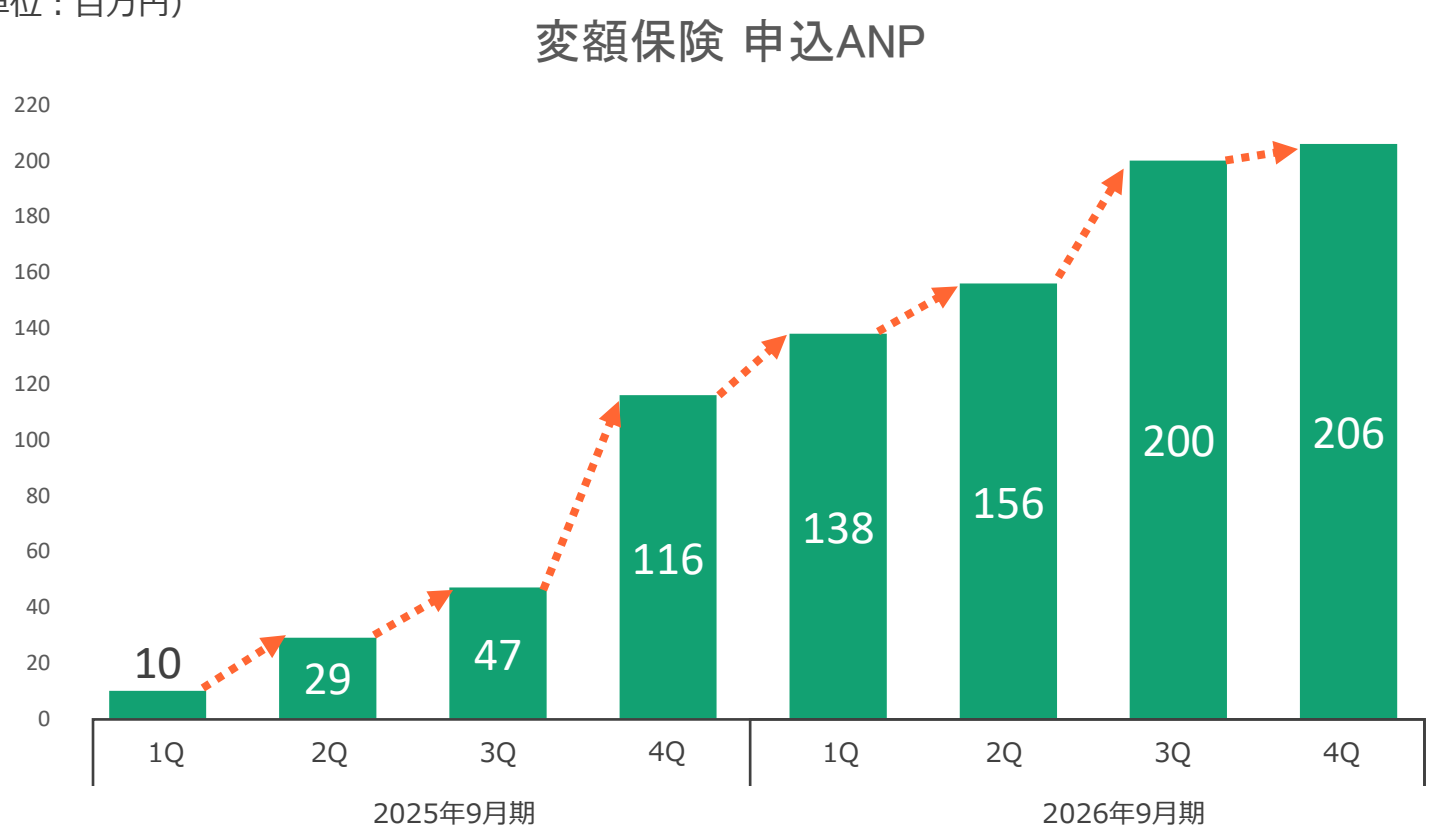
〇社員教育を充実させ、若手社員が即戦力として活躍できる環境を整備。
〇積極的に若手社員を支店長へ登用。
〇若手社員が中心となって現場を牽引することで、活気のある組織づくりを目指す。



変額保険販売の拡大

〇2025年9月期 第1四半期より変額保険の取扱いを開始。
着実に販売量が拡大しており、2026年9月期も継続して販売量が増加している。

（単位：百万円）



03. アドバンスクリエイトとは

アドバンスクリエイトとは

アドバンスクリエイトは、保険ビジネスの概念を変え、
常に業界に革新を生み出し続けるインシュアテック企業です。

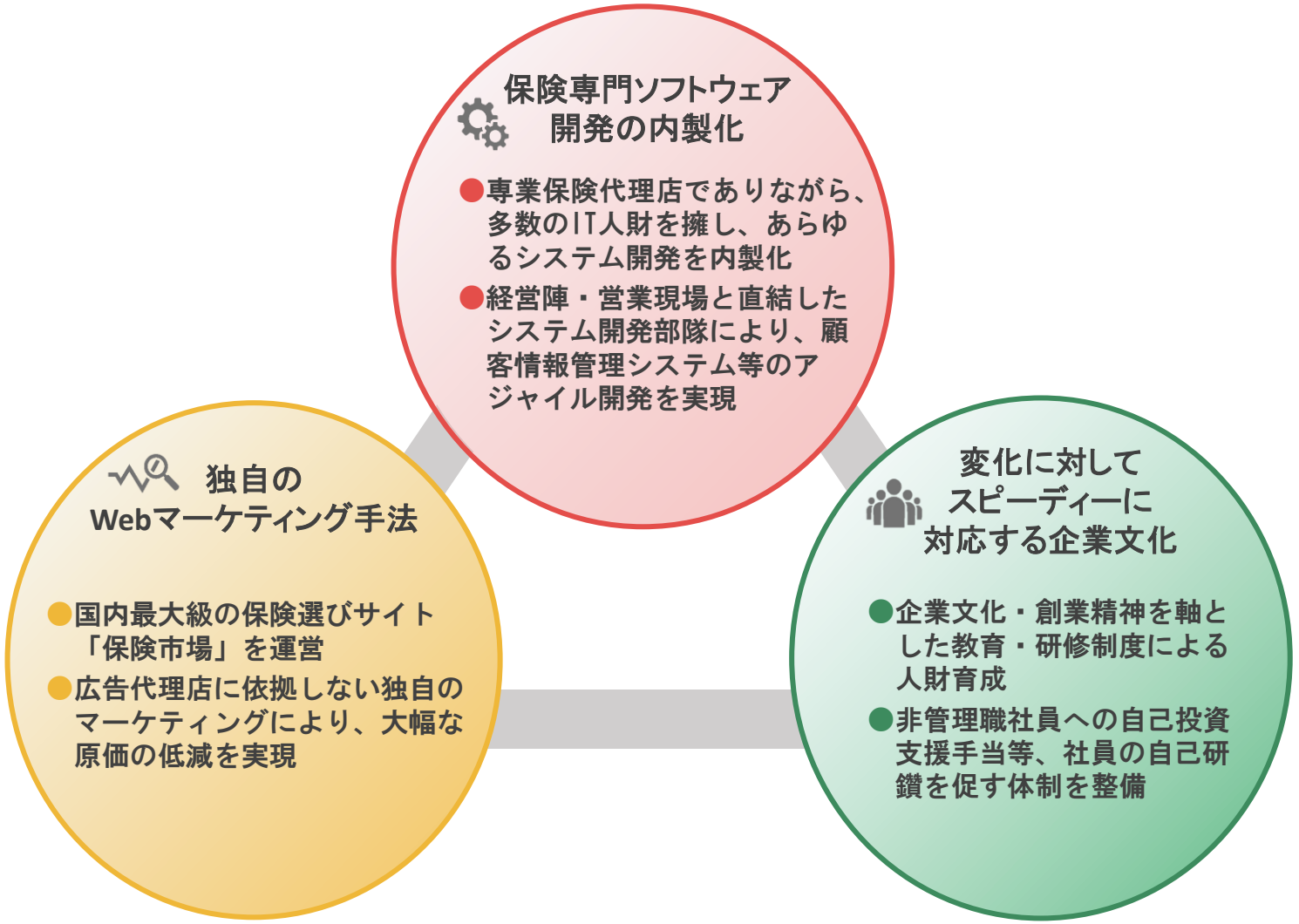


＜企業理念＞

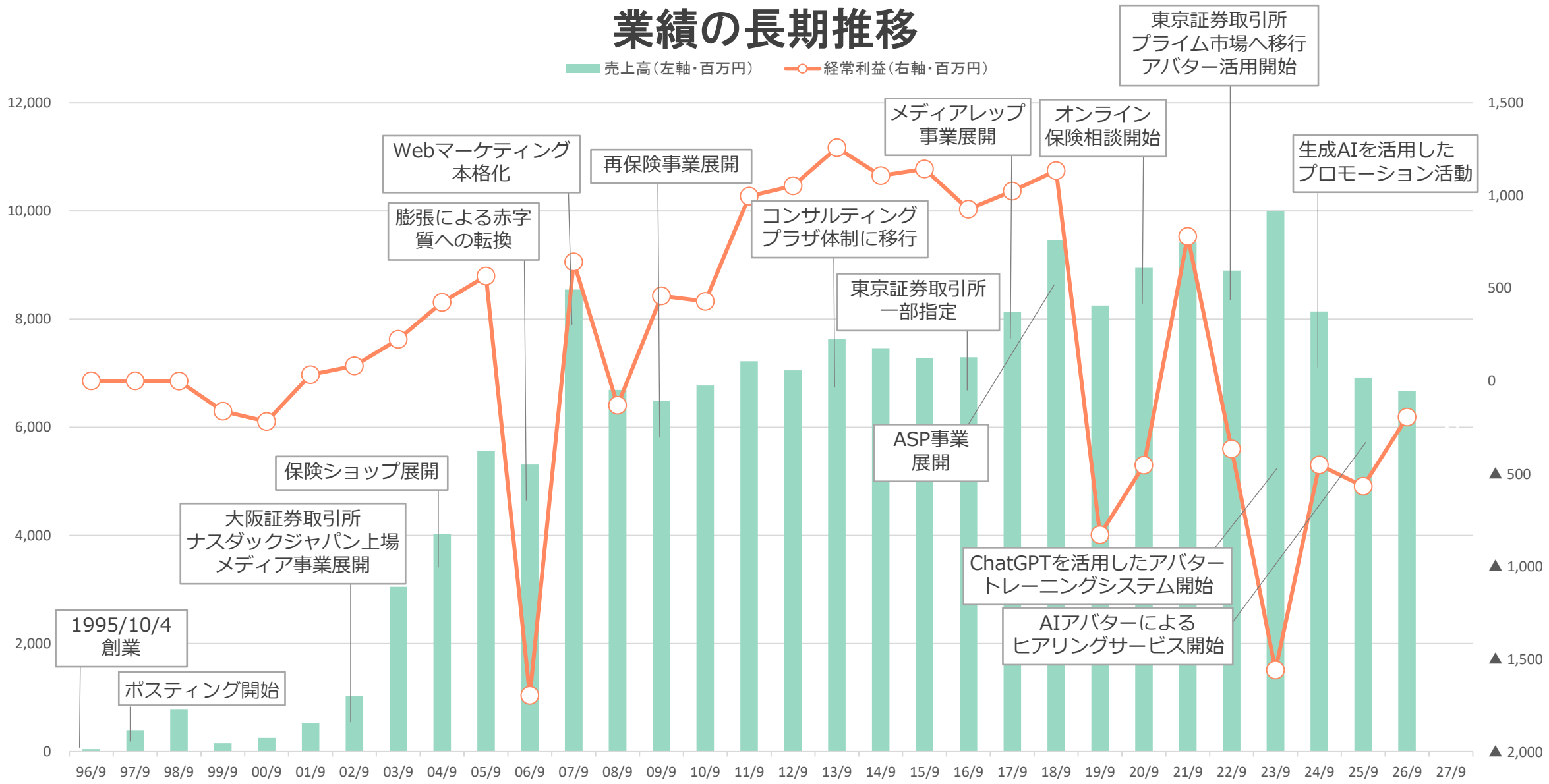
人生は有限、可能性は無限！

人生とは時間です。今、この瞬間を懸命に生き抜くことで、価値ある人生は生まれます。
私達は、今を生き抜く人に、保険という愛情の経済的表現手段を最高のサービスで提供するとともに、
無限の可能性を創造する人材を育成することで永続的に社会に貢献してまいります。

アドバンスクリエイトの強み



アドバンスクリエイトとは



※2027年9月期 通期予想は未定としております。また、過去数値については、過年度決算訂正を反映した数値を記載しております。

アドバンスクリエイトとは

テクノロジーによる進化の歴史

1998年 ホームページで資料請求受付
1999年 保険市場サイト開設
顧客情報管理システム
「御用聞き」開発



2009年 スマホ最適化サイト開設
2012年 スマホサイト全面リニューアル

Cf.iPhone3G発売：2008年

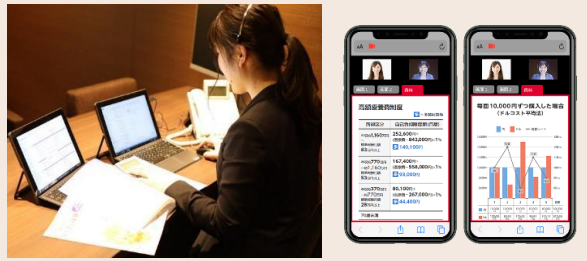


2013年 スマホアプリ「保険市場」開発
2018年 保険証券管理アプリ
「folder」開発



2020年 オンライン保険相談開始
「Dynamic OMO」開発

Cf.日本で5Gサービス開始：2020年
Cf.新型コロナウイルス流行：2020年



2022年 アバター相談サービス開始



2023年 ChatGPTを活用したアバター
トレーニングシステム開始

LINEプロモーション戦略
外販開始



2024年 生成AIを活用した
プロモーション活動



2025年 AIアバターによる
ヒアリングサービス開始

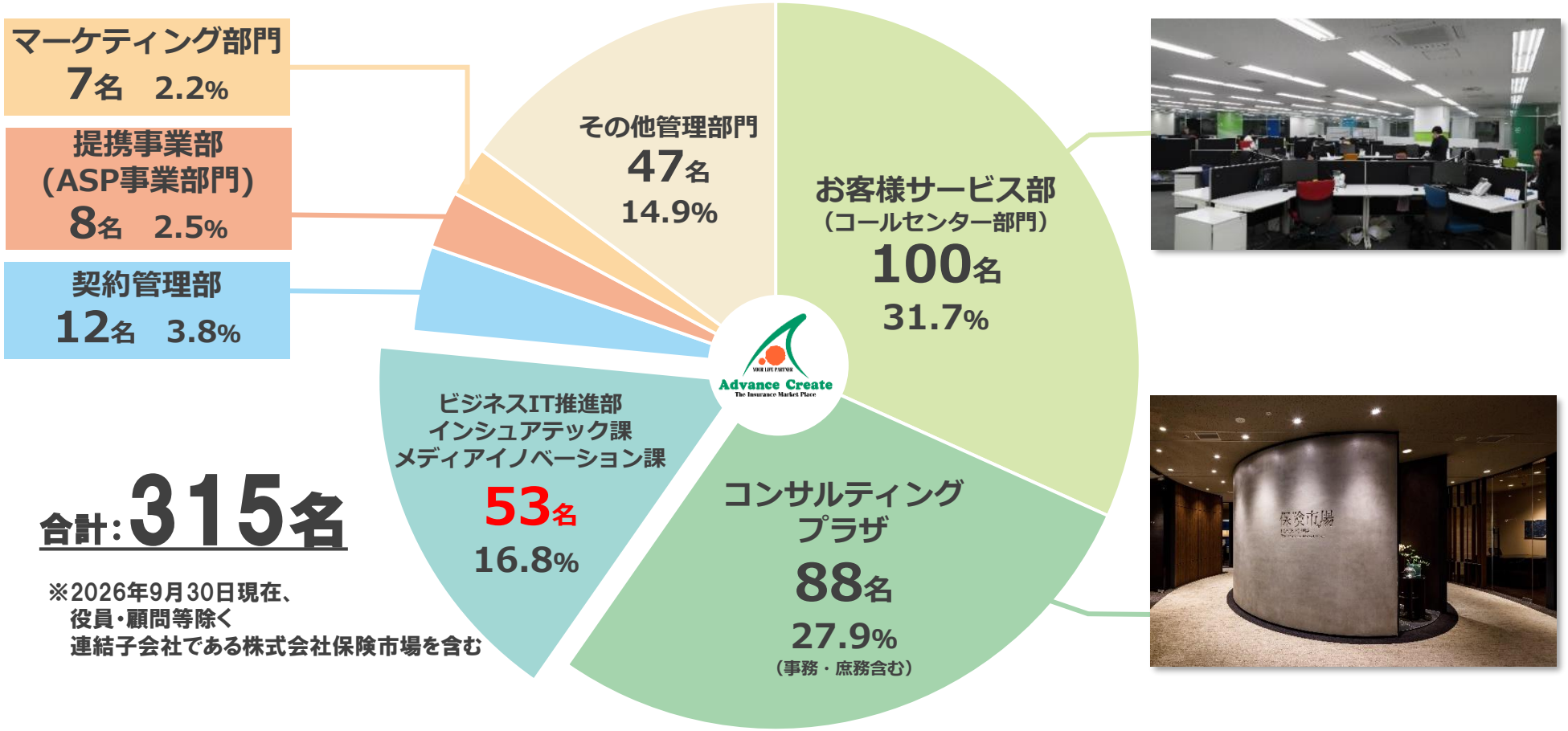


アドバンスクリエイトとは

ソフトウェア開発の内製化とアジャイル開発

〇自社でエンジニア、デザイナー等、多数のIT人財を擁し、あらゆるシステム開発を内製化。

〇経営陣・営業現場・エンジニアが直結し、アジャイル開発を実現。



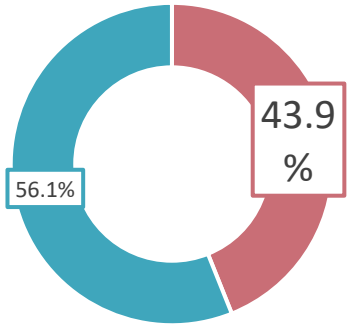
04. サステナビリティ経営

人的資本経営

○非管理職社員への「自己投資支援手当」、資格取得等にかかる教材・スクール費用等を補助する「自己啓発補助制度」、社員のスキルアップを促す「通信教育制度」等、人的資本の充実に向けた各種制度を整備。

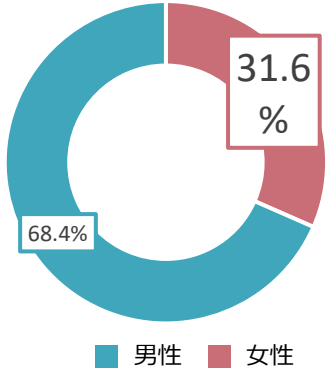
○本社・支店における働きやすいオフィスの整備、リフレッシュルームの設置等、性別や国籍等に関係なく、社員の能力を最大限発揮できる環境を構築。

社員男女比率



※正社員及び契約社員

女性管理職比率



※2026年9月30日現在





CSR活動

〇近年注目を集めるCSR活動への取り組みとして、下記の協賛や寄付講座を実施。
社会への参画意識を高め、社会課題の解決に向けた取り組みを強化。

新日本フィルハーモニー交響楽団「第九特別演奏会」への特別協賛



©TERASHI Masahiko

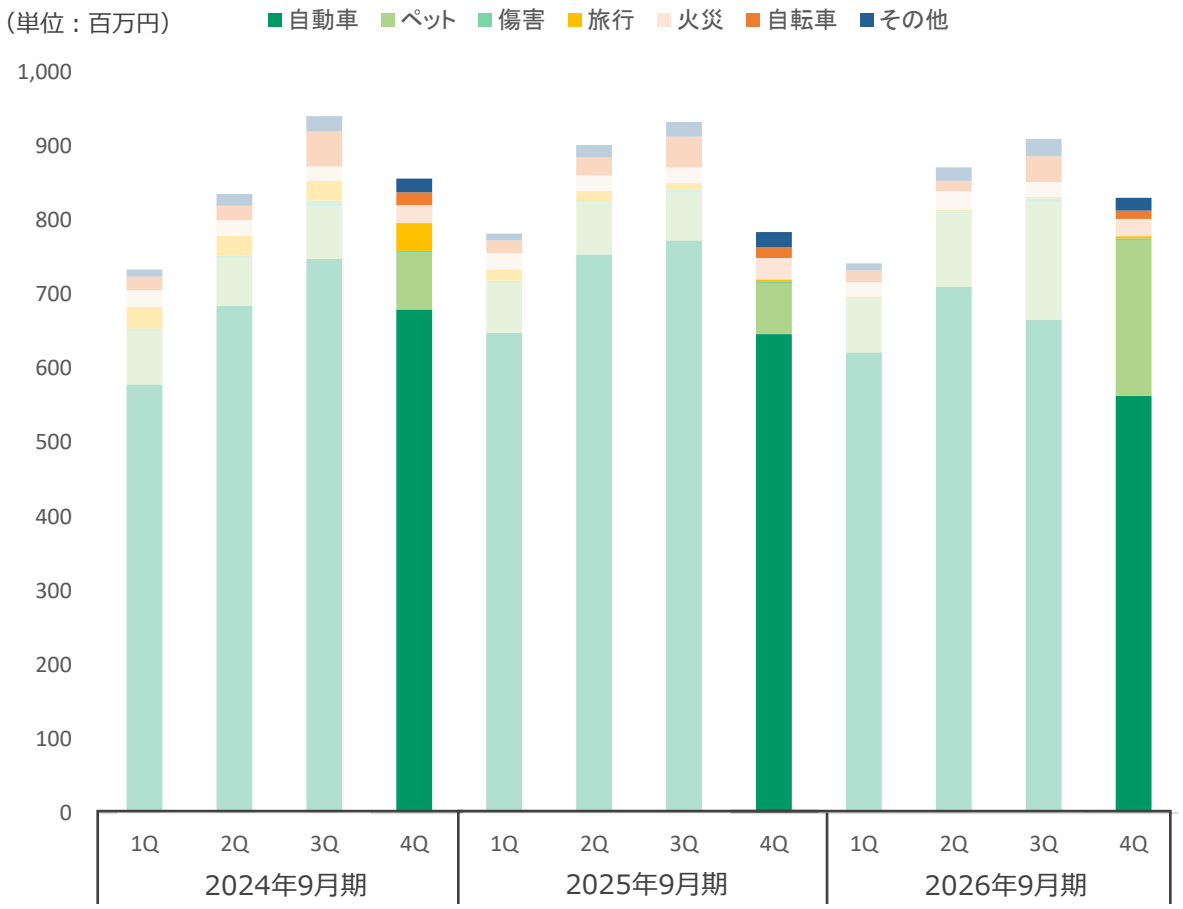
関西大学寄付講座



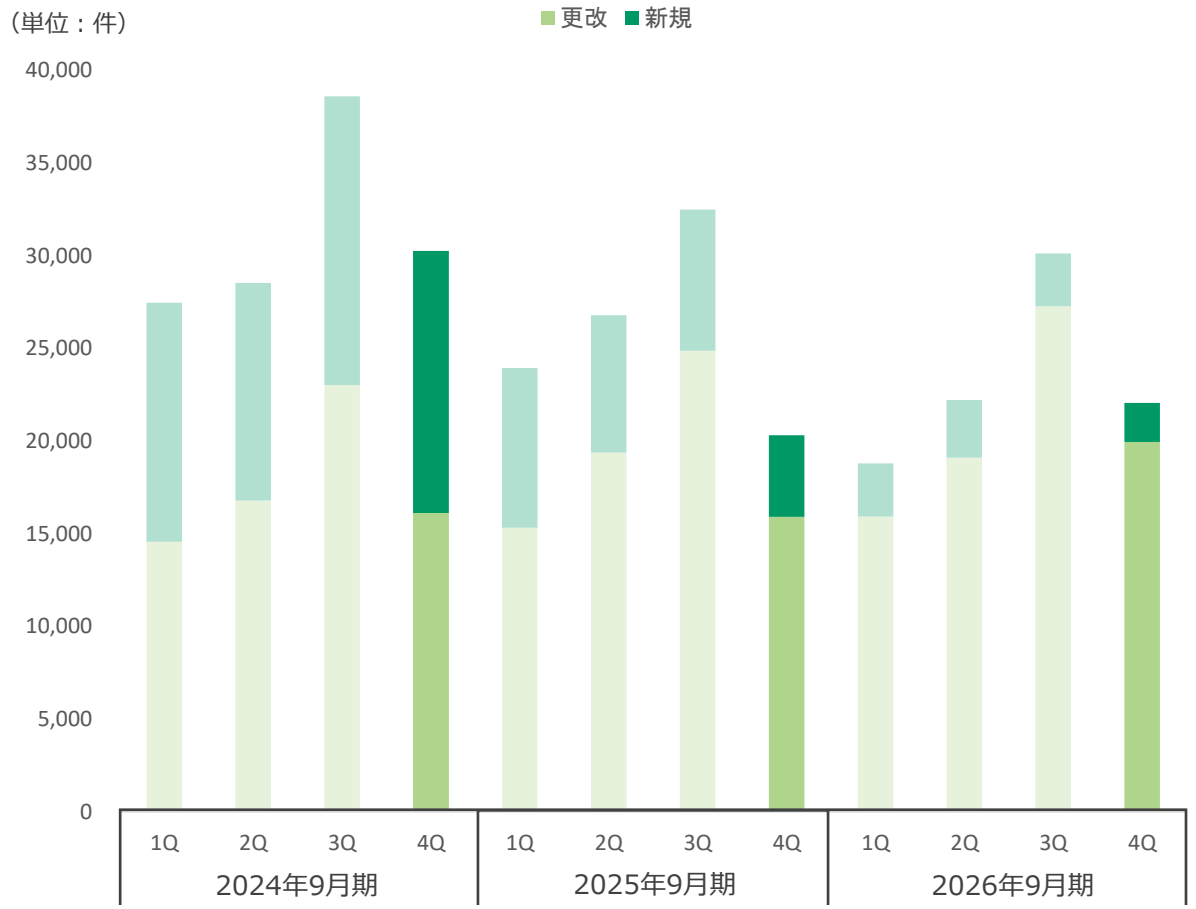
05. appendix

損害保険の状況

収入保険料（新規・更改含む）



契約件数



※直近四半期の実績については速報値を記載しております。

再保険事業の状況

Advance Create Reinsurance Inc.

再保険事業

- ▶ 販売した保険のリスクの一部を保険会社から引き受け、再保険料を得る。
- ▶ リスク引受、保険金支払責任を持つことによるお客さまとの関係強化。
- ▶ リスクを共有し健全な保険募集を行うことによる保険会社との紐帯強化。
- ▶ 引受保険会社を増やすことにより収益の安定化を図る。

（単位：百万円）

	2024年7月～2025年6月	2025年7月～2026年6月
収入再保険料	1,026	1,053

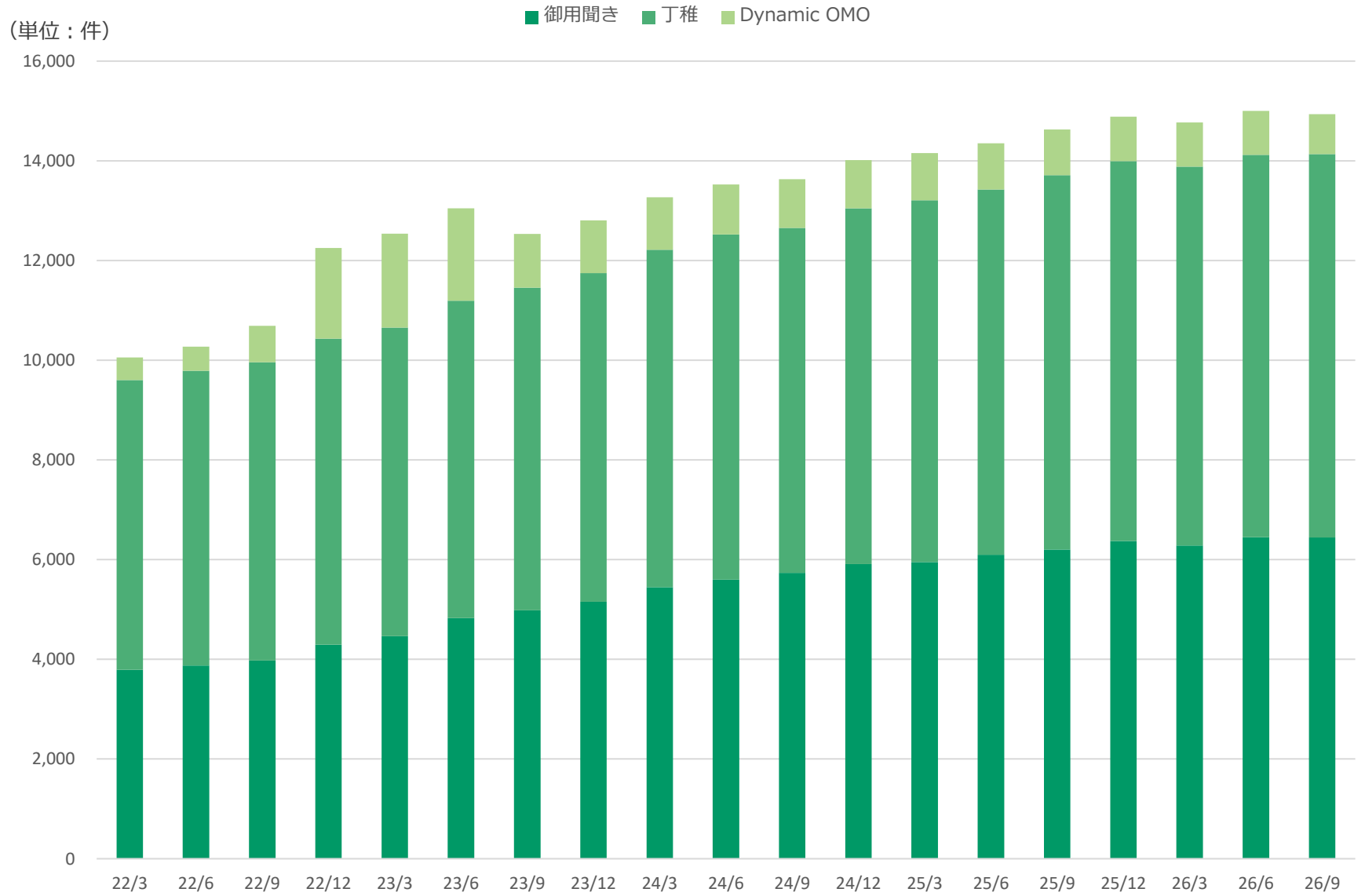
Advance Create Reinsurance Inc.

＜再保険引受保険会社＞
2026年9月末現在　全7社
生命保険会社：5社
損害保険会社：1社
少額短期保険業者：1社

残存期間	割合※
終身	72.1 %
10年～	10.6 %
5年～10年	8.8 %
～5年	8.4 %

※Advance Create Reinsurance Inc. が2026年6月に収入した再保険料を、2026年6月末を基準とした、元受契約の残存期間別に集計し、全体に対する割合を示しています。

Advance Create Cloud Platform ID 数



アバター導入実績

全4社

生命保険会社：2社

損害保険会社：1社

その他：1社

Dynamic OMO導入実績

全43社

生命保険会社：3社

損害保険会社：1社

少額短期保険会社：1社

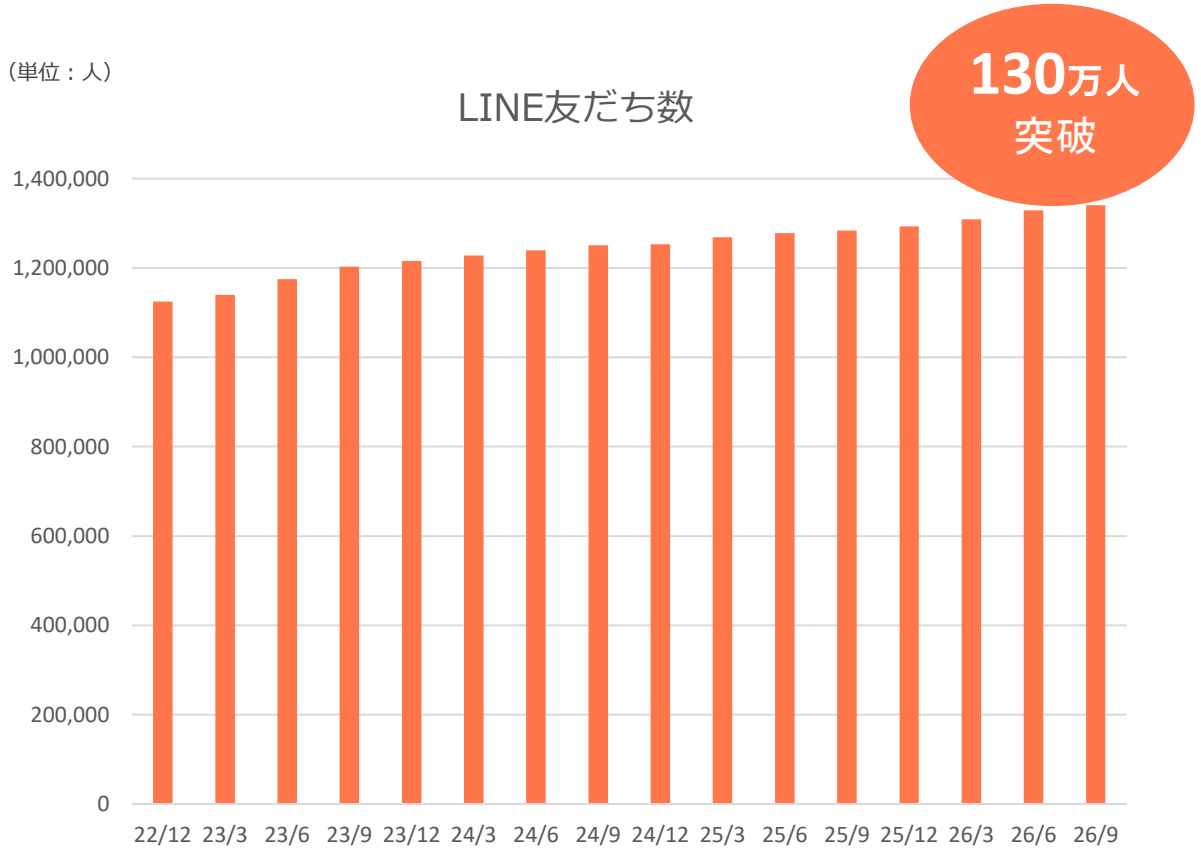
その他：38社

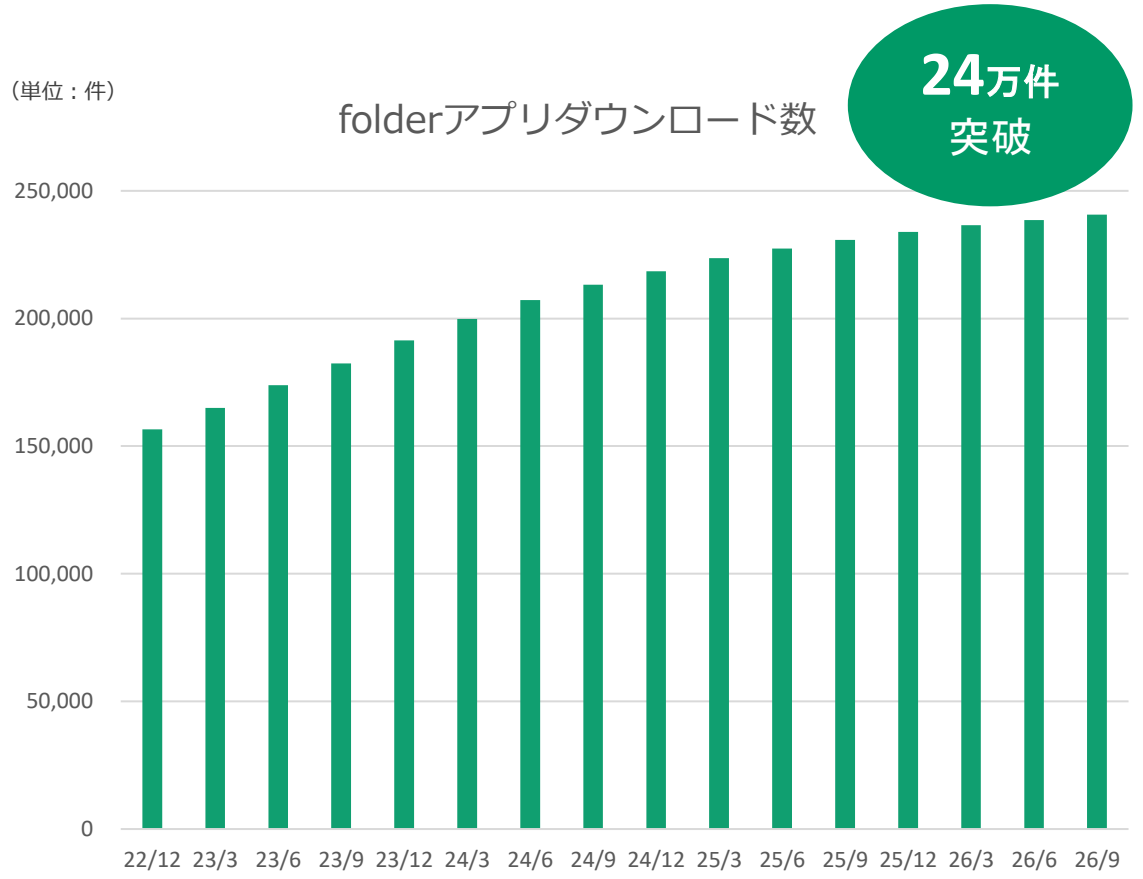
※2026年9月30日 現在

テキストを活用したプロモーション

○LINEのチャットで手軽に質問したり、保険相談の予約をすることが可能。

○当社開発の「folder」アプリは、保険の比較・診断・相談・管理ができるアプリとして、保険業界のインフラを目指す。





※2026年9月30日 現在

統合報告書の発行

情報開示を強化する観点から、2022年より発行を開始。
本報告書では、1995年の創業以来、「人こそ全て」の信念に基づいた教育や人財投資等の人的資本経営により、高い労働生産性と社会価値の創出に繋がっていることを掲載している。



※統合報告書の全文はこちらからご覧ください。

えるぼし認定

女性活躍推進法に基づき、厚生労働省が定める一定の基準を満たし認定された企業には「えるぼし認定マーク」が発行される。

会社概要

商号	株式会社アドバンスクリエイト
代表者	代表取締役社長　濱田　佳治
所在地	大阪府大阪市中央区瓦町3-5-7　野村不動産御堂筋ビル
設立	1995年10月
資本金	100百万円（2026年9月末現在）
事業内容	保険代理店、メディア、メディアレップ、再保険、ASP、BPO
従業員数	198名（2026年9月末現在、嘱託社員・再雇用社員・派遣社員を除く、グループ計）
決算期	9月
株式市場	東証プライム、福証、札証（コード:8798）

免責事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあり得ます。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご留意ください。

お問い合わせ先

総合企画部	高岸　浩司
TEL	06-6204-1193(代表)
メールアドレス	acir@advancecreate.co.jp
URL	https://www.advancecreate.co.jp/